

おうちで シネマ

■群馬ロケ編

「ばかもの」

(2010年、

金子修介監督)

高崎市在住の芥川賞作



ラストシーンが撮影され
た倉渚町の河原(高崎フィル

ムコミッション提供)

家、糸山秋子さん原作で、
同市や片品村など本県を
舞台に繰り広げられる恋
愛物語。

気ままな大学生のヒデ
(成宮寛貴)は、年上の
額子(内田有紀)から一
方的に別れを切り出され
る。酒に溺れ、転落して
いくヒデ。一方、額子も
人生が変わる大事故に巻
き込まれていた。

撮影は高崎競馬場跡地
や高崎経済大のキャンパ
ス、吹割の滝などで行わ
れた。白衣大観音やだる
まなども登場し高崎らし
さも随所に見られる。

再会した2人が将来を
語り合うラストシーンは
同市倉渚町の広鈴河原に
大きな木を持ち込んで撮
影された。